

地盤工学会関東支部 会員サービスグループ
2022年度 第1回幹事会 議事録（案）

【開催日時，場所，出席者】

| | | | | | | | | |
|--------|-------------------------|---|-----|-------|------|------|-------|---|
| 日 時 | 2022年5月9日（月）10:00～11:30 | | | 会 場 | Zoom | | | |
| リーダー幹事 | 三上 武子 | ○ | 幹 事 | 島村 章吾 | ○ | 学生幹事 | 田崎 翔 | ○ |
| リーダー幹事 | 山中 光一 | ○ | 幹 事 | 小林 優起 | ○ | 学生幹事 | 荒木 大空 | ○ |
| 幹 事 | 荒井 郁岳 | ○ | 幹 事 | 今林 清秀 | ○ | | | |
| 幹 事 | 山口 恵美 | × | 幹 事 | 丸山 智之 | ○ | | | |
| | | | | | | | | |

○：出席，△：代理出席，×：欠席，保：保留

【配付資料】

資料 2022-1-1：2022年度第1回幹事会 議事次第

資料 2022-1-2：2021年度第3回幹事会 議事録

資料 2022-1-3：語りべ会 実施概要（7月開催）

資料 2022-1-4：SSC 実施に向けて

【議事】

1. 前回幹事会（2021年度第3回）議事録確認

資料 2022-1-2 に基づき、下記の項目についての議事録確認が行われ承認された。

2. 語りべ会の進捗状況について

<7月開催（予定）の進捗状況>

荒井幹事より、資料 2022-1-3 に基づき実施概要の説明があった。

説明を踏まえ協議を行ったところ、検討項目については以下のようにすることとなった。

- ・ 開催時期については7月上旬に開催することとし、時間は午後を実施することとなった。日時についてはリーダー幹事（最低1人）および語りべ会担当幹事の出席可能日をいくつかピックアップして、國生先生へ候補日として連絡することとなった。國生先生からの連絡があり次第、日時を決定する方針となる。
- ・ 質疑応答を含めた開催時間およびそれに伴った謝礼金に関しては、過去に実施された語りべ会を参考に今後決定していくこととなった。謝礼金に関する詳細な内容は、担当者が事務局の青木さんに確認をすることとなった。
- ・ 講師紹介者に関しては現段階では原先生（高知大）のお名前が上がっているが、一度、國生先生へ紹介者のご希望があるかどうか確認し、それを踏まえた上で協議し決定する方針となった。

- ・ 11 月開催（予定）の進捗状況

11 月開催（予定）に関しては、後日決定予定の Geokanto2022 のスケジュール等を踏まえたうえで、講師の候補である龍岡先生への打診をしていく方針となった。

3. SSC の開催方法について

<今年度の SSC 実施方法>

今林幹事より、資料 2022-1-4 に基づき実施概要の説明があった。実施時期を 10 月中旬～下旬（会告時期 8 月～下旬）とし、検討項目については、協議の結果以下のようにすることとなった。

- ・ 開催場所については、日本大学の実験室を使用する前提で実施内容を進めていく予定であるが、zoom による中継に支障を出さない程度のネット環境を作れるかが課題として挙げられた。今後は、載荷試験時のネット環境等を踏まえたうえで実施方法を検討することとなった。
- ・ 載荷試験については、リアルタイムで数本の供試体を破壊して中継する方法と事前に供試体に対して載荷試験を行い、その録画を開催時に流す形をとるという案が提案された。
- ・ 材齢に関しては、ばらつきの少ない $\sigma 28$ を採用するのが理想であるが、その場合、開催までの時間が少なくなってしまうことが課題として挙げられた。また、目標強度に達していれば材齢は問わない形とするという案も提案された。
- ・ 供試体に用いる材料については、セメントに限らず自由度を持たせた方が良いという提案があった。しかし、その際の評価方法や目標強度の設定に関しては詳細に検討できていないため、今後の打ち合わせで検討する予定の旨が伝えられた。
- ・ SSC を開催するにあたり、開催目的を大きく以下の 2 つに分け、どちらの目的をメインとするかについての検討を行った。
 - ① 地盤材料に関する知識を生かした強度発現の競争がメイン
 - ② SSC 開催による学生および社会人参加者間のコミュニケーションがメイン目的によっては開催場所を含めた実施概要が大きく変わってくるため、今後の打ち合わせで詳細に検討する方針となった。

SSC の実施方法については、今回の幹事会において指摘された課題について、今後 SSC 担当幹事の打ち合わせによって詳細に検討を行うこととなった。

4. その他

小林幹事より、地盤工学会誌に掲載する東日本大震災 10 年企画の開催報告原稿の確認依頼があった。メールで送られた原稿を確認し、気づきがある場合は 5/11 までに連絡をすることとなった。

以上（文責：荒木）